

# イリオモテヤマネコ保護基金 年次報告書

March 2018 vol.8



©村田 行

## 世界自然遺産リスト登録への動向と課題

2017年2月1日、日本政府は、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」の世界自然遺産一覧表記載に関する推薦書をユネスコに提出しました。しかし、この推薦には大きな問題点が2つあります。1つは世界自然遺産としての価値を代表する生物であるイリオモテヤマネコの重要な生息地である低地部の大部分が、嚴重に保全されるべき推薦地から外されており「緩衝地域および普通地域」とされている点。もう1点は、世界自然遺産推薦地包括的管理計画においてそれら低地部の「緩衝地域および普通地域」にマストゥーリズム型周遊観光を推進し、施設整備を行うとされているなど、観光利用に対して開放的な計画が打ち出されている点です。

西表島への年間推定入域者数は平成28年度の時点でおよそ32万人です。近年はエコツアー事業者数が急増し(10年間で2倍以上)、かつては限定的な場所で行われていたツアーが、島全域の河川で行われるようになるなど、オーバーユースによってイリオモテヤマネコの生息地が荒廃する可能性が指摘されていますが、現在、統一された観光利用のルールすらない状況です。

世界自然遺産登録後の推定年間入域者数は最大で70万人とも言われていますが、このような状況の中で、オーバーユースの問題を解決し、世界自然遺産本来の趣旨である「人類にとって普遍的な価値のある自然を後世に残す」という目的を達成するには、法的拘束力のある総量規制や行為規制が必須といえる状況です。JTEF 西表島支部やまねこパトロールは、島で唯一の自然保護団体として島の暮らしと自然との共存をめざし、これからも観光規制の必要性を訴えていきます。

### 目次:

巻頭言	… 1
イリオモテヤマネコの保全をめぐる動き2016	… 2
2016年度事業の概要と収支報告	… 3
2016年度事業報告(生息地支援)	… 4・5
2016年度事業報告(普及啓発イベント)	… 6
2017年度事業計画と予算	… 7
事務局日誌 / イベント・カレンダー JTEFの活動をご支援ください!	… 8

## ●イリオモテヤマネコの生息状況

2017年2月22日に環境省の「イリオモテヤマネコ保護増殖検討会」で、2016年の生息状況が報告されました。これはイリオモテヤマネコが高い密度で生息しているといわれている海岸線に近い低地で、環境省が継続的に実施しているモニタリングの結果をまとめたものです。

※このモニタリングでは、29か所に継続的に設置されている自動撮影カメラによって得られた情報と、環境省に寄せられた目撃情報が用いられています。

## ●2016年度の確認個体（自動撮影された個体に限る）

自動撮影モニタリングでの総確認個体数は、オス29個体、メス13個体、性別不明8個体の合計50個体となりました。メスの確認個体数は昨年度から約2倍になっており、これまで長期間メスが確認できていなかったポイント（船浦浦内地区、祖納干立地区）でもメスが確認されました。ただし、これはモニタリング用の撮影装置がフィルムカメラからデジタルカメラに変わったことによって、個体識別の精度が上がったことによるものであり、イリオモテヤマネコの個体数が増加しているわけではないとされています。

## ●イリオモテヤマネコの目撃情報

2016年の目撃情報は452件となり、年間400件を超える高い目撃件数となりました。

地域別では高那の86件、古見及び相良の73件と、2地域で顕著に目撃件数が多いという結果になりました。また路上に繰り返し出没する「特定個体」の目撃が160件と多く、その内、親子や幼獣の目撃が73件と半数以上を占めるなど、イリオモテヤマネコの道路馴れの傾向も引き続き表れています。

※「特定個体」は目撃の状況から同一の個体と推定される、繰り返し路上に出没する個体のことです。



出典：イリオモテヤマネコ保護増殖検討会

## ●イリオモテヤマネコの交通事故

2017年は交通事故により3頭のヤマネコが死亡しています。また、2018年には早くも1件の交通事故が発生していますが、最近では比較的事故の発見が少なかった西表島西部での事故が増えており、2016年度末から5件連続で西部で事故が確認されています。

2017年以降に確認されたイリオモテヤマネコの交通事故					
年	確認月日	性別	年齢・特徴	区間	
2017	7.16	オス	成獣	祖納/祖納港西	死体回収
	7.28	不明	不明	上原/ひとみ食堂前	死体未回収
	9.22	オス	亜成獣	浦内(ミナピシ付近)/横断歩道付近	死体回収
2018	1.23	オス	成獣	浦内/第二浦内橋付近	死体回収

出典：環境省記者発表資料、保護増殖検討会資料、八重山毎日新聞記事





[事業の概要]

▶ 生息地支援

**[イリオモテヤマネコ生息地保全プロジェクト]**

人件費を除く支援額その他経費(予算額):  
198,996円(200,000円)

パートナー:イリオモテヤマネコ生息地保全調査委員会(委員長:土肥昭夫)、西表大原ヤマネコ研究所(所長代行:岡村麻生)

**【目的】**

西表島低地部におけるイリオモテヤマネコ生息地の保全

**【概要】**

- ・西表島低地部の土地利用に際して生息地保全のために配慮すべきことを調査し、関係機関へ提言する。
- ・ヤマネコを含む絶滅危惧種の回復を中心とした、生物多様性保全のための法制度を関係機関へ提言する。

**[ヤマネコのいるくらし授業]**

人件費を除く支援額その他経費(予算額):  
1,483,743円(1,370,000円)

直轄事業(本部&西表島支部やまねこパトロール)

**【目的】**

西表島で、イリオモテヤマネコ/西表島の自然との「共存」を受け入れるだけでなく、一人一人が「共存」を日常生活の中で意識し行動するような社会をめざす

**【概要】**

- ・西表島の子どもたちに、小中学校の場でヤマネコの生態と社会を踏まえ、ヤマネコの立場に立つて島の暮らしのあり方について学ぶ機会を提供する。大人への波及効果も重視する
- ・現場教員が本授業の意義とそれを実践する技能・工夫を身に付ける教員研修会の実施
- ・教員の授業実践への地域コミュニティーの協力体制を構築。
- ・各校が教員の授業を受け入れる環境整備。そのため教育委員会が研修会を公式行事化するようはたらきかける。
- ・必要に応じた出張授業の実施。

**[交通事故防止対策]**

人件費を除く支援額その他経費(予算額):  
1,225,800円(1,600,000円)

直轄事業(西表島支部やまねこパトロール)

**【目的】**

イリオモテヤマネコの交通事故防止

**【概要】**

- ・地元の人々の自発的な協力のもとに、夜間、目撃多発地点をパトロールする。
- ・西表島の地元の人々、観光客に対して、ヤマネコの交通事故防止について普及する。

**[イリオモテヤマネコの日事業/JTEF西表島支部「やまねこパトロール」運営]**

支出額(予算額):3,703,801円(3,070,000円)

直轄事業

**【目的】**

イリオモテヤマネコの交通事故防止、イリオモテヤマネコの生息地に悪影響を与える土地利用防止、イリオモテヤマネコの生活をかく乱する観光のやり方の防止

**【概要】**

- ・西表島の地域住民を対象としたシンポジウムの開催、観光客に対する教育普及ツールの開発
- ・普及等の教育普及活動を行う

▶ 保全教育・普及・・・6、8頁参照

▶ チャリティー・イベントの開催・・・6、8頁参照

▶ 会報発行・・・年次報告書(2017年2月)、保護基金通信(2017年6月、10月)、メール・マガジン(5回)、ウェブサイト運営

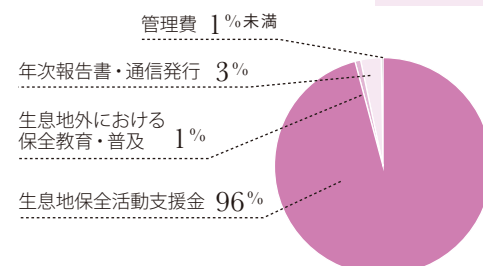
[収支報告]

\* イリオモテヤマネコ保護基金(JTEF2016年度)2016年11月1日~2017年10月31日

収入	単位:円
正会員年会費	0
寄附金	2,517,236
助成金	1,391,268
受取利息・為替差益	0
合計	3,908,504

支出	単位:円
生息地保全活動支援金	6,612,340
生息地外における保全教育・普及	35,312
保全に関する政策提言	0
チャリティー・イベントの開催	0
年次報告書・通信発行	237,061
管理費(人件費・水道光熱費・消耗品費、その他)	9,663
合計	6,894,376

※共通の収入は、トラ、ゾウ、イリオモテヤマネコ、それぞれの収支状況を考慮して適正に配分しています。



## ◎イリオモテヤマネコ生息地保全プロジェクト

### ▶イリオモテヤマネコを見せるツアーへの対策

イリオモテヤマネコの観察を目的としたツアーが増え、イリオモテヤマネコの生態への悪影響が懸念されます。そこで専門家と相談し、提案書「イリオモテヤマネコの観察・撮影について」を作成し竹富町政策推進課、竹富町議会議員に働きかけました。その結果、9月議会でこの問題が取り上げられ、今後の対応として、条例改正により規制することも可能という竹富町の答弁を引き出すことができました。ヤマネコを見せるツアーは、さらに規制の導入を求めています。



ツアー業者が公開した動画。ヤマネコの動揺は明らか。

### ▶世界遺産登録に伴う観光利用の規制導入に向けた活動

9月、世界遺産登録推薦の是非を評価するIUCN（国際自然保護連合）に対して、「イリオモテヤマネコの保全からみた西表島の推薦に対する意見」（英文35頁）を提出しました。

10月、IUCN現地調査における地域との意見交換会に支部やまねこパトロール事務局長の高山と（本部）事務局長の坂元が参加し、法的拘束力のある観光利用の総量規制、ヤマネコを見せるツアーの法的な規制、ヤマネコの重要生息地内に観光利用施設の建設を許可すべきでないこと等の意見を述べました。



IUCNに提出した意見書



国と沖縄県は世界遺産登録の気運を盛り上げようとしているが…

## ◎ヤマネコのいる暮らし授業

### ▶やまねこカメラと出張授業

2016年11月には西表島の上原小学校、白浜小学校と、船浮小学校でヤマネコのいる暮らし授業を行いました。今回はスピードを出して走る車だけでなく、ヤマネコの生息地にずかずか入りこむ観光客に対するヤマネコの気持ちを考えるゲームを新たに制作し体験してもらいました。上原小学校ではその後、担任の先生が引き継ぎ12月の学習発表会で劇にして保護者の皆さんに見ていただきました。

2017年1月、白浜小学校の学校水田に自動撮影「やまねこカメラ」を生徒たちと仕掛けました。2月には夜間イノシシが4頭写っており、校舎の裏でイノシシとヤマネコの足跡もみつけました。そして、なんと3月にはそのカメラにヤマネコが写っていたのです。昼間は遊んでいる子どもたちがカメラに写り、その同じ場所で夜はヤマネコが写る、という、まさに野生動物との共存を感じさせるものでした。



### ▶西表島で、小牛学校の教員向け研修会を町の教育委員会との共催で実施

昨年に続き7月26日に東部、27日に西部で教員研修会を行いました。東部から3校16名、西部から4校7名の参加。今年は1日研修とし午前フィールドワーク、午後はグループごとに授業案検討をしていただきました。どのグループの発表も興味深く、実際に2名が夏休み明けに授業を行っていただきました。



### ▶野生生物保全教育研究会

東京ではほぼ月に1回、ヤマネコのいる暮らし授業研究会を開き、元東京学芸大学教授、北海道教育大学教授、子どもと自然学会顧問、元小学校教諭等、環境教育の第一人者の先生方からアドバイスを頂いています。西表島支部事務局長は毎回スカイプで参加しています。

## ● 交通事故防止対策

### ▶ 通年で交通事故防止夜間パトロール実施中

イリオモテヤマネコの交通事故防止のため、JTEF支部やまねこパトロールが組織した地元の人々からなるパトロール隊（西部、東部各10名ほど）が夜間パトロールを行っていますが、2016年度（2016年4月～2017年3月）は、通年でデータをとるようになってから4年目です。



夜間、道路脇に出ていたヤマネコ

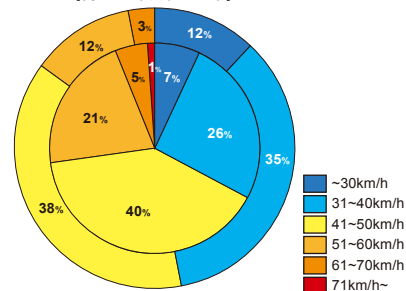
今年、夜間パトロールは東部5チーム、西部5チームの体制で実施しました。路上に出ているヤマネコも多く、パトロール中に34回ヤマネコに遭遇しました。また第三者からも7件の目撃情報の提供を受けました。

3月には環境省のイリオモテヤマネコ保護増殖事業分科会に、オブザーバーとして出席して報告を行い、意見を述べました。

月別の平均速度を4年間で比較すると、2016年度は6月以降ほぼすべての月で過去最低水準の速度となりました。年間の平均速度は42km/hでこちらも過去最低速度です。

その理由として、やまパトや環境省、竹富町による普及の成果かもしれませんが、5月末で4件の死亡事故が発生。5月7日の新聞も一面で過去最悪ペースと伝えたので島民が自ら意識的にスピードを落としたという可能性もあります。また、パトロールが島民に知られるようになり、パトロール車が通りかかるときにスピードを落としている可能性もあります。速度低下の理由については、引き続き検討していきますが、スピードが多少落ちて、ヤマネコの事故死は過去最多を数えたという事実は、ヤマネコの交通事故防止がいかに困難な課題かを改めて突き付けているといえます。

速度データの比較  
[内2015年、外2016年]



### ▶ 県道の草刈り作業

西表島を走る県道215号線は沖縄県最長の県道であるにもかかわらず年3回しか除草作業が行われておらず、いつも草だらけです。道路脇に草が繁るとヤマネコが森から道路に出やすくなる上、ドライバーからヤマネコの姿を隠してしまいます。そこで支部では、ヤマネコの出没が多発する地点で草刈りを行っています。

2016年度（2016年4月～2017年3月）の草刈り作業は中野で4回、西ゲータで1回、船浦で1回、仲間崎で1回の計7回実施しました。



## ● 4月15日「イリオモテヤマネコの日」事業

2017年4月15日第2回イリオモテヤマネコの日、西表島でミニシンポジウム「これからのヤマネコ保護と島の暮らし」を開催しました。パネリストには長年イリオモテヤマネコの研究と保護に携わってこられた琉球大学の伊澤雅子教授とJTEF西表島支部やまねこパトロール高田見諒東部相談役を迎え、ヤマネコ発見時の島の暮らしや、過去におけるヤマネコ保護の問題点などを振り返りながら、これからのヤマネコ保護について話し合いました。伊澤教授からは、現在西表島で計画されている休耕田を水田として復活させヤマネコの餌場を造成しようという取り組みに対して、ヤマネコは本来森林の生き物であり、ヤマネコが好む環境は森林であると発言。安易な餌場造成はヤマネコに新たな問題を引き起こす可能性があるとして警笛を鳴らしました。シンポジウムの様子は琉球新報と八重山毎日新聞でも報道されました。



また同日には「イリオモテヤマネコってんだー」でおなじみの株式会社ゆかいさんと制作した動画「イリオモテの冒険」を公開。石垣と西表の港で配布したパンフレットや港に設置したパネル、ポスターのQRコードを読み込むと動画にアクセスできる仕組みです。動画の中では実際にヤマネコが道路に飛び出す様子も見る事ができ、体長60cmのヤマネコが夜の路上でいかに見えにくいかがよく分かります。



# イベント報告

2016年度事業報告

2017.2/11

## やまねこマラソン大会

西表島

今年も「マラソンは飛ばしても車はゆっくりね」のスローガンで、チームの皆さんがTシャツを着て、完走しました。



2017.4/15

## イリオモテヤマネコの日記念シンポジウム開催

西表島

ヤマネコの日記念シンポジウム「これからのヤマネコ保護と島の暮らし」開催。50名以上の参加をいただき、2018年にも登録される予定の世界自然遺産とオーバーユースについてパネルディスカッションを行いました。



2017.4/18,19

## アースデイ東京2017

代々木公園

象牙国内市場閉鎖に向けた世界各国の動きなどのパネル展示を行いながら、子供向けのワークショップで、動物のマグネット作り。ボランティアも参加者も大勢で賑わいました。



2017.5/27

## JTEFを支える チャリティーパーティー2017

「JTEFの活動を支えるチャリティー実行委員会」によりチャリティーパーティー開催。イチャリバーズの楽しいライブで大盛り上がりでした。



2017.7/26,27

## 西表島教員研修会開催

西表島

西表島小中学校の先生方の研修会を竹富町教育委員会と共催で実施しました。午前中はフィールドワーク、午後は先生方が授業案を作成し発表をしてくださいました。



2017.7/29

## 世界トラの日

動物園のボランティアスタッフとJTEFがトラのクイズとプレゼントを配布しながら、3500頭台のトラを守ろう！というメッセージを多くの人々に。

2017.9/21

## 白浜小学校ヤマネコ授業

白浜小学校ヤマネコ授業でフン分析のお手伝いをしてきました。生徒の皆さんは「臭い〜!」と叫びながらも、真面目にフンをほぐしていました。冬のフンからはネズミ、鳥の足、夏のフンからは甲虫、カエルの骨、イネ科の草本などが出てきました。ライオンやイエネコもお腹の調子が悪い時は草を食べるよと詳しい生徒も。



2017.8/25~9/3

## 田中豊美チャリティー展覧会

JTEFの賛同者、動物生態画家の田中豊美画伯。50年に渡り愛情を絵に表しながらいつまでもトラが野生で生きていける事を祈って、チャリティー展覧会を初めてJTEFのオフィスで開催しました。



2017.9/23,24

## ナマステ・インディア2017

いい天気で、多くの方からエールをいただきました！子供達と折紙のゾウを作りながら、楽しくイベントでインドの野生動物をお祝いました！



2017.10/9

## ゾウとサイを守るグローバル マーチ東京

NPO法人アフリカゾウの涙主催で、上野公園に200人が集結。1時間かけて園内を一周してゾウやサイの保護を呼びかけました。参加者の中にはお子さんも多く、風船を手に持ち、歌を歌いながら明るく楽しい雰囲気のマーチとなりました。



2017.10/15,16

## ディワリ・イン・ヨコハマ2017

Happy Diwali! 横浜の山下公園にてインドの光のお祭り。イベント中雨は降ったり止んだり、そして急に寒くなったから長袖Tシャツとパーカーが完売。インドにはカレーや Bollywood ダンスばかりでなく、素晴らしい野生の世界もあることをアピール。

2017.10/28,29

## ヤマネコ祭2017

動物園にいるツシマヤマネコつながりでイリオモテヤマネコの現状を伝えました。

- 2017年2月に日本政府は西表島等の世界自然遺産リスト記載推薦を行いました。早ければ2018年夏または2019年夏に遺産リスト記載となる可能性があります。この世界遺産を十分保護・管理するためとして、イリオモテヤマネコおよび西表島の生態系を保全するための政策・制度強化が具体的に議論され始めています。これを機に、現場情報について調査報告し、効果的な観光利用の総量規制、ヤマネコの観察・撮影方法の規制などの導入を行政機関に働きかけます。
- 集落周辺でのヤマネコの交通事故が増えていますが、土地改良事業により寸断されたコリドーが回復しヤマネコが道路を渡って海側へアクセスしやすくなっている可能性があります。そこで、従来の夜間パトロール・路肩の草刈に加え、これらのコリドーを確保しつつ事故を防止するための新しい手法による教育普及を行います。
- 「ヤマネコのいる暮らし」授業を学校教員自身の手で行ってもらえるよう、教員研修会、各教員の支援を行います。

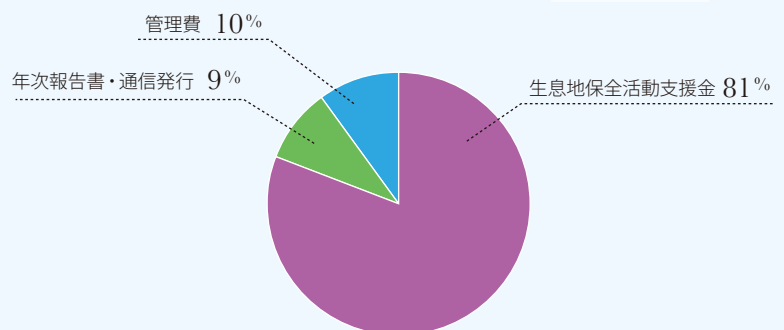
## イリオモテヤマネコ保護基金 (JTFF2017年度予算) 2017年11月1日～2018年10月31日

### 予算：収入

	単位：円
正会員年会費	120,000
寄附金	5,130,000
助成金	1,548,900
<b>合計</b>	<b>6,798,900</b>

### 予算：支出

	単位：円
生息地保全活動支援金	5,530,000
生息地外における保全教育・普及	0
保全に関する政策提言	0
チャリティー・イベントの開催	0
年次報告書・通信発行	605,200
管理費(人件費・水道光熱費・消耗品費、その他)	663,700
<b>合計</b>	<b>6,798,900</b>



※ 共通の収入・支出は、それぞれの収支予算を考慮して適正に配分しています。

- November 2016**
- 11.6 石垣島やいびと大会参加 (石垣島)
  - 11.7 上原小学校 授業 (西表島)
  - 11.18 保全教育研究会 (東京・事務局)
  - 11.21 西表島白浜小 授業 (西表島)
  - 11.22 西表島 船浦中学 授業 (西表島)
- December**
- 12.8 トラ大使第3回ワークショップ (上野動物園)
- January 2017**
- 1.21 理事会、総会、交流会 (東京・事務局)
  - 1.27 保全教育研究会 (東京・事務局)
- February**
- 2.11 やまねこマラソン大会 (西表島)
- March**
- 3.22 2016年度 イリオモテヤマネコ保護増殖事業分科会 (那覇市)
- April**
- 4.1 しらうめ春祭り (梅が丘 白梅作業所)
  - 4.15 シンポジウム「これからのヤマネコ保護と島のくらし」(西表島)

- 4.22,23 アースデイ東京2017 (東京・代々木公園)
  - 4.23 八重山郷友会連合会 (王子「北とびあ」)
  - 4.27 EIA来日、記者会見開催 (東京・事務局)
  - 4.28 EIAとともに外務省・経産省・環境省と国内象牙市場閉鎖について意見交換 (東京)
- May**
- 5.18 参議院環境委員会「種の保存法改正法案」審議参考人招致 (東京・参議院)
  - 5.27 JTEFの活動を支えるチャリティー・パーティー (東京)
  - 5.28 竹富島郷友会でヤマネコ保護についてお話 (王子「北とびあ」)
- June**
- 6.19 理事会 (東京・事務局)
  - 6.25 トラ大使リーフレット配布 (上野動物園)
- July**
- 7.26,27 西表教師研修会 (西表島)
  - 7.29 世界トラの日 ブース出展 (上野動物園)
- August**
- 8.12 世界ソウの日 ブース出展 (上野動物園)

- 8.15 トラ大使リーフレット配布 (上野動物園)
  - 8.24 世界自然遺産上原地区住民説明会に参加 (西表島)
  - 8.25~9.3 田中豊美さんトラ絵画展 (東京・事務局)
- September**
- 9.10 東京西表島郷友会 (東京・赤羽会館)
  - 9.11.20.21 「西表島の適正利用とエコツーリズム推進体制に向けた検討会」と区域別作業部会に参加 (西表島)
  - 9.17 しらかげ会 (東京・赤羽会館)
  - 9.23,24 ナマステ・インディア2017 (東京・代々木公園)
  - 9.25 IUCNに対して「イリオモテヤマネコの保全からみた西表島の推薦に対する意見」(英文35頁)を提出
- October**
- 10.9 ゴウとサイを守るグローバルマーチに参加 (上野公園)
  - 10.14,15 ディワリ・イン・ヨコハマ2017 (横浜 山下公園)
  - 10.19 IUCN現地調査における地域との意見交換会に参加 (西表島)
  - 10.22 トラ大使リーフレット配布 (上野動物園)
  - 10.24 理事会 (東京・事務局)
  - 10.28,29 ヤマネコ祭2017 (井の頭自然文化園(動物園))

Media

-JTEFやそのパートナーの活動/コメントが掲載されました-

- ・2017年1月18日\_東京新聞:象牙取扱業 登録制に 悪質業者排除へ監視強化
- ・3月1日\_朝日新聞:象牙売買、違反で懲役刑も業者、登録制に法改正案を閣議決定
- ・3月1日\_時事通信:会社員ら不起訴処分=無登録象牙をネット売買—東京地検
- ・3月1日\_日本経済新聞:象牙売買の男性ら不起訴 東京地検
- ・3月27日\_八重山日報:スピード違反減少 島民、ヤマネコ意識か
- ・4月19日\_八重山毎日新聞:希少種との共存探る イリオモテヤマネコの日 記念シンポ 住民や研究者ら50人参加
- ・4月28日\_朝日新聞:象牙市場の閉鎖をめぐる 国際NGOが声明
- ・5月7日\_朝日新聞:もって教えて! ドラえもん/ヤマネコ日本に2種類いるね 年々数が減少 保護活動が進むよ
- ・5月14日\_琉球新報:イリオモテヤマネコシンポ「緩衝地も重要生息地」竹富保護と共存策議論
- ・5月20日\_朝日新聞:@ケニア)象牙の密猟と戦う人々
- ・5月22日\_しんぶん赤旗:象牙取引の規制が必要 参考人が指摘 日本に道義的な責任 武田議員
- ・7月6日\_共同通信:楽天市場、象牙取引を禁止 環境団体「影響大」と歓迎
- ・7月30日\_琉球新報:安定した環境保つて ヤマネコ保護講演会
- ・7月31日\_八重山毎日新聞:大原中の同窓会設立 本島在住卒業生で組織
- ・8月3日\_朝日新聞:楽天、象牙のネット取引を全面禁止へ 8月中にも
- ・9月2日\_朝日新聞:イオン、象牙製品の取り扱い全廃へ 20年3月までに
- ・9月6日\_共同通信:イオンモール象牙禁止へ 民間が選好、政府は容認 政府の登録推進に批判も
- ・9月30日\_八重山日報:見学ツアー規制訴え ヤマネコの人馴れ懸念 IUCNに意見書
- ・10月8日\_八重山日報:トラ・ソウ保護基金 環境省に要望書 IUCN視察で
- ・10月8日\_八重山毎日新聞:IUCNとの意見交換 やまねこバトロールが要望書
- ・10月14日\_沖縄タイムス:意見交換会へ住民参加要望 NPO法人、環境省に
- ・10月14日\_琉球新報:自然遺産推薦地拡大求め意見書 トラ・ソウ保護基金
- ・10月20日\_沖縄タイムス:登録で観光客急増懸念 世界自然遺産調査 西表住民 専門家と議論
- ・10月21日\_八重山日報:観光規制の対策急務 町、3月に条例上程へ
- ・10月22日\_琉球新報:観光施設で歓迎と懸念 西表 世界遺産登録で検討  
認定NPO法人トラ・ソウ保護基金西表島支部やまねこバトロールが情報公開請求で入手した検討会資料によると、島西部・浦内川河口にヤマネコ観察シェルター、ミュージアムショップなどを備えた「西表フィールドミュージアム(仮称)」を建設するなど、複数の施設整備が検討されている。拠点整備構想について、西表島でホテルを運営する竹富町観光協会の上角直之会長は「本物の自然をきちんと理解してもらいたいのので、整備には大いに賛成したい」と歓迎する。一方、やまねこバトロールの高山雄介事務局長は、整備予定地がイリオモテヤマネコの主要な生息地だと指摘し「施設整備により大勢の観光客が出入りするところで、ヤマネコの生育環境の攪乱につながる恐れがある」と懸念を示す。住民に構想が公表されていないとして「拠点整備は観光客の流れを形づくるもので、住民生活にも影響する。議論の内容を広く公開してほしい」と求めた。
- ・11月4日\_朝日新聞:今さら聞けない+ (PLUS) /世界自然遺産 貴重な地形や動植物の宝庫
- ・12月4日\_東京新聞/中日新聞:象牙規制「日本に抜け穴」ワシントン条約委で批判 登録制度 違法取引防げず  
先月、「日本の国内象牙市場を閉鎖すべき、これだけの理由」と題した250頁の報告書を発表した坂元雅行弁護士(NPO法人「トラ・ソウ保護基金」事務局)は、登録キャンペーンについて「象牙業者の在庫を潤そうというもくろみだ」と酷評。象牙の登録機関が、申請された「象牙」の現物検査を行わず、追跡調査に必要な個体識別やマーキングもされない現状に恐れ、違法な象牙を不法な手段によって虚偽登録し、合法市場に流入させるロンダリング(洗浄)を助長している」との見方を示した。
- ・12月5日\_朝日新聞:eco活プラス/動物の事故死 防ぐには 抜け道整備 標識に注意し運転
- ・12月23日\_朝日新聞:象牙密輸出、日本で横行 中国向け、現地は3~4倍の高値



**4月7日(土) 10:00-13:00**  
**白梅福祉作業所さくらまつり**  
(世田谷区松原6丁目43番17号 ソウ福祉ビル)

**4月21日(土)22日(日)**  
**アースデイ東京2018**  
(東京・代々木公園)

**4月15日(日)**  
**「第3回イリオモテヤマネコの日」記念シンポジウム**  
(西表島・会場未定)

**6月2日(土) 18:00-20:00**  
**JTEFをささえるチャリティー・パーティー 2018**  
(東京・ピヤステーション恵比寿)

**JTEFの活動をご支援ください!**

JTEFの活動は、皆さまからのご寄附で支えられています。野生動物と私たちの豊かな自然環境を守るために、ぜひ私たちの活動をご支援ください。

★年間サポーター費・随時寄付のお支払方法  
 ゆうちょ銀行  
 口座番号) 00170-7-355897 加入者名) トラ・ソウ保護基金

ホームページからクレジットカードでもご寄付いただけます。  
<http://www.jtef.jp>

**トラ・ソウ保護基金へのご寄附は、確定申告で納められた所得税の控除(還付)を申告できます**

2017年1月1日以降2017年12月31日の間にいただいた年間サポート費、随時寄付の2,000円を超える部分につきましては、平成29年分の所得税の控除申告が出来ます。ぜひ活用ください。

**確定申告の受付は2018年(平成30年)3月15日(木)まで。お忘れなく!**



〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル 3F  
 Tel : 03-3595-8088 Fax : 03-3595-8090  
 E-mail : hogokikin@jtef.jp http://www.jtef.jp  
 郵便振替口座 : ゆうちょ銀行 口座番号) 00170-7-355897  
 加入者名) トラ・ソウ保護基金

イリオモテヤマネコ保護基金 年次報告書 vol.8  
 2018年2月28日発行  
 発行人: 戸川久美 編集: 戸川久美・高山雄介  
 レイアウト: 土肥優子